

性別に関するアンコンシャス・バイアス学習教材（高校生向け）の活用事例

目標

アンコンシャス・バイアス（＝無意識の思い込み。以下、「アンコン」という。）への理解を深め、進路や職業選択においてアンコンによって可能性を狭めることなく、自身の思いを大切にし、なりたい自分を目指して行動できるようにする。

活用の流れ

	学習活動	指導上の留意点	資料・準備物等
導入	1 動画から、自分自身のアンコンについて考える。	・啓発資料は、自分らしい進路・職業選択ができるよう県内高校生のアイデアをもとに作成されたことを伝える。	・啓発資料(高) ・動画視聴機器(タブレット等)
	2 学習課題を確認する。 性別に関するアンコンが進路・職業選択に与える影響について考えよう。	・アンコンは誰にでもありうることや、それに気づくことで、自分の可能性が広がることを伝える。	
展開	3 啓発資料の事例を読み、アンコンについて考える。 ・自分のことを振り返る。 ・近くの人と意見を共有する。	・啓発資料の事例(身近なアンコン)をとおして、自分自身のアンコンについて内省を促す。 ・アンコンを完全になくすことはできない。「気づこう」とすることが大切であることを伝える。	・啓発資料(高)
	4 アンコンが進路・職業選択に与える影響について考える。 (1)動画を視聴し、感じたことを啓発資料に記入し、近くの人と話し合う。 (2)啓発資料のデータから日本や栃木県の課題を参考に、身近にあるジェンダーギャップについて考える。	・職業に関するアンコンがテーマであることを伝える。 ・「働いている人にインタビューしてみよう！」のページは、授業以外(長期休業中の課題等)で取り組む。 ・日本や栃木県の課題についても、探究テーマのひとつとして扱う。 ・「ジェンダーギャップがある現状にアンコンが影響していないか？」を発問する。 ・「職業に関するアンコンがないか？」も発問のひとつとなる。	・啓発資料(高) ・タブレット等 ・啓発資料(高) ・タブレット等
	(3)グループで話し合い、その後、全体で共有する。	・互いに安心して話し合いができるよう、傾聴の姿勢を心掛けることを確認する。	・啓発資料(高) ・モニター
振り返り	5 学習を振り返る	・「進路・職業選択において、アンコンにとらわれることなく、なりたい自分を目指していくことの大切さを伝える。	・啓発資料(高)

活用場面例

【各教科等】

- ・公民科 A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本的原理
- ・家庭科 A 人の一生と家族・家庭及び福祉
- ・特別活動
- ホームルーム (1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画
- ホームルーム (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ホームルーム (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
- ・総合的な探究の時間 職業や自己の進路に関する課題
- ・人権週間の活用資料として

など

【家庭等との連携】

- ・長期休業中の課題(インタビュー等)として
- ・学年保護者会及び個人懇談の啓発資料として

など